

2. 地域行政との連携 取り組み事例

セブン&アイ 重点課題2

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

市政情報の発信



本業を通じた社会課題解決で「社会」「企業」双方の価値を創出 = 持続可能な成長

◎社会課題（取り組みの背景）

- ・コロナウイルス感染症に伴う三密回避、感染予防の観点から、巣籠により高齢者は、SNS等の活用が不得意なため、重要な市政情報を得られにくい。
- ・特殊詐欺等の多様化、コロナ禍で在宅率が高まり高齢者被害の増加。

◎具体的活動（シナリオ）

- ・コミュニティの場としてお買い物ついでの各種情報提供。
- ・市政情報コーナー常設により地域行政の啓発活動に協力。
- ・店舗インフラを活用した啓発活動の推進

社会の価値

- ・情報難民の解消
- ・市政情報コーナーの常設により定期的な情報発信。また、タイムリーな情報提供につながり、市民サービスの向上につながる。

企業の価値

- ・来店動機の一つにもなり集客効果が見込める。
- ・地域行政の情報発信場所としてお客様から企業に対する信頼価値が高まる。
- ・地域行政を通じた地域住民をはじめとしたステークホルダーとの関係強化が見込める

2. 地域行政との連携 取り組み事例

セブン&アイ 重点課題2

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

市政情報の発信



地域行政情報発信コーナー常設



日立店：ひたち情報発信コーナー



アリオ葛西店：江戸川区お知らせ常設



花巻店：情報発信センター

2. 地域行政との連携 取り組み事例

セブン&アイ 重点課題2

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

店舗内投票所



地域行政情報発信コーナー常設 → スペースの有効活用『店舗内投票所』



17年衆議院議員選挙、葛西店（東京都）の状況
最終日5,130人、期間計18,194人が投票来店
売上予算比113% 昨年比107%



17年衆議院議員選挙、知多店（愛知県）の状況
最終日3,026人、期間計4,556人が投票来店
売上予算比128% 昨年比128%

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 地域行政との連携 取り組み事例

セブン&アイ 重点課題2

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

認知症サポーター養成講座



地域行政情報発信コーナー常設 → スペースの有効活用『認知症サポーター養成講座』



お客様向け講座では、事前に店内の情報発信コーナーでの告知だけでなく区報にも掲載し対応しています。

参考：認知症サポーター養成数 ※2021年2月22日現在 **10,150人** 全従業員に占める割合**32.2%**

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.